

町田市長 石坂 文一様
 企画政策課 御中
 公園緑地課 御中
 文化振興課 御中

芹ヶ谷公園と周辺地域の環境を考える会

「芹ヶ谷公園”芸術の杜”パークミュージアム」についての要望・質問・提案書

私たち「芹ヶ谷公園と周辺地域の環境を考える会」は、歴史と文化の香る緑豊かな芹ヶ谷公園と、安全で住みやすい地域環境について、皆で考え、実現するための活動を行っています。

この度「芹ヶ谷公園“芸術の杜”パークミュージアム」構想において、私たちはこれまで、シンポジウムなどの会を重ね、市民や公園利用者と対話し、それぞれの想いや声を聴いてきました。

市民の声を中心に意見や要望をまとめ、芹ヶ谷公園とその周辺環境をより良いかたちで後世に引き継いでいくために、又、町田市が定める「市民とともに歩み、市民とともに考える市政」に賛同し、以下の質問・提案を含めた要望を提出します。

1. 要 望

- 1) 市民が自由に参加できる話し合いの公開の場（協議会）を設立して下さい。
- 2) 自然環境が少しでも守られるように計画を再検討して下さい。
 - ・現在の計画だと谷戸の地形が大きく削られてしまいます。
 - ・もみじ谷の橋と南口アプローチのデッキスロープは中止して下さい。
- 3) 新設エレベーターの位置は、美術館・公園利用者どちらとも使い易い位置にして下さい。
 - ・現在の位置だと自転車が乗降できない。
 - ・美術館内に入らないと利用できない。
- 4) 事業費を合理的に見直して下さい。
 - ・(仮称)国際工芸美術館に関しては、配置計画や工法、材料等の見直しによって少しでも事業費を削減する検討を行って下さい。
 - ・版画美術館の工房と喫茶けやきを移転せず、現在のままの営業が出来るようにして下さい。

2. 質 問

- 1) 【経過について】
 - ①2016年の計画から、現在の実施設計に至るまでの経過と市民参加（協議）について、状況を明らかにしてほしい。(別紙①参照)
 - ②基本設計完了後の市民との協議、意見交換会はないままなぜ実施設計となったのか、明らかにしてほしい。
- 2) 【工事計画について】
 - ① 2025年のオープンの根拠は何ですか？
 - ② 公園工事全体の財源を知りたい。
 - ③ 生活通路としてのE Vをどう考えていますか？新設されるE Vは住民の生活通路としても使われることを考えていないのか？
 - ④ 公園整備の工事は、全て3.4.11号線整備工事が終わるまでは着工しないということですか？
 - ⑤ 3.4.11号線の具体的な形状（柱が立つのであればその場所と大きさも）を明示して下さい。

3. 提 案

- 1) 工芸美術館建設場所の比較案を更に丁寧に検討することで見えてくる可能性(アートステージ含む) 2019/8/2 A, B, C案をもとに検討した案 (説明文(別紙②-1) + 添付資料(別紙②-2)参照)

以 上

別紙①

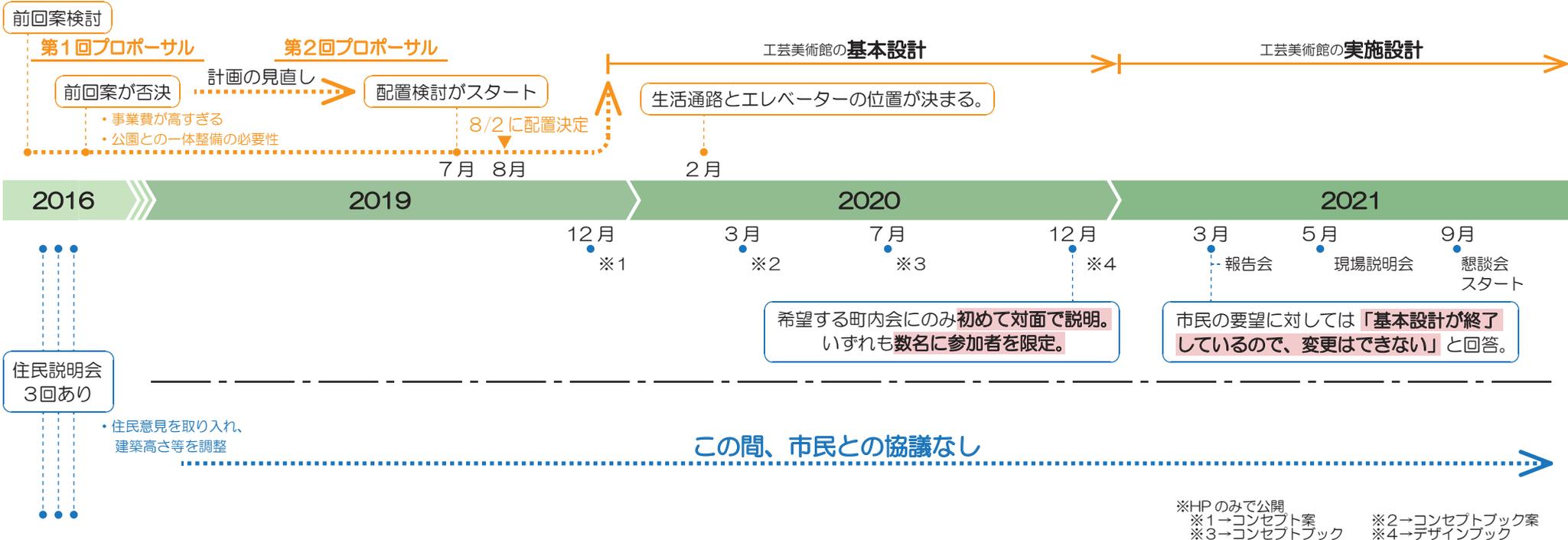
■ 市民への説明に欠け、市民の意見を聞かない町田市の進め方に問題があります。

市役所内での進行

年月

市説明への報告

市民との意見交換・協議



工芸美術館建設場所の比較案を更に丁寧に検討することで見えてくる可能性

【市の比較案を更に丁寧に検討する】

町田市の「公園・美術館一体整備におけるデザイン監修及び設計業務」美術館分科会 2019/8/12 で検討された工芸美術館建設場所の検討資料について、市が比較した3案を更に丁寧に検討した。

【A'案】（市のA案をもとに、収蔵庫と展示室を南側に集約）

・版画美術館を挟んで南北に配置された収蔵庫と展示室を全て南側にまとめる。別に考慮が必要とされていた高低差解消のエレベーターは版画美術館の北側に、水路エリアに面して単独で配置する。

⇒収蔵庫と展示室が上下に重なることで、元のA案で「×」とされていた搬入ルートの問題は解決する。自然環境への影響はほぼなく、圧迫感も小さい等、市が全体コンセプトとして考慮している項目もクリアする。搬入車両のアプローチにも無理がない。地形と樹木に手を加える必要がないので余計な工事費がかからず最も安価となる。

高低差解消のエレベーターは分かりやすく利用しやすく、夜間や休日も使え、自転車の利用も可能となる。

【B'案】（市のB案をもとに、建物を3層に重ねコンパクト化）

・版画美術館北側に配置されている収蔵庫と展示室を3層に重ねて幅を詰める。別に考慮が必要とされていた高低差解消のエレベーターは版画美術館との間に、水路エリアに面して配置する。

⇒建物が斜面の下にコンパクトにまとまることで自然環境への負担が小さく、版画美術館と同様の屋根で覆うことで圧迫感も抑えられる。搬入車両が公園の一部を横断するが影響はわずかである。地形と樹木に手を入れる範囲は限られ、工事費が安くなる。

A'案と同様にエレベーターは分かり易く利用しやすく、夜間や休日も使え、自転車の利用も可能となる。

【C'案】（市のC案をもとに、エレベーターを公園水路エリアに移動）

・収蔵庫と展示室は元のC案のまま斜面地から高台にかけて配置し、高低差解消のエレベーターを水路エリア側に移動する。

⇒自然環境が広範囲に損なわれ、木が伐られて丸裸となった斜面に複雑な建物がそびえ立つ等、圧迫感が大きく、緑豊かな公園の景観が失われる。

市が全体コンセプトとして考慮している項目に対し、実は最もそぐわない案である。搬入車両のアプローチは現在のメインの園路と完全に重なり、快適な空間が失われるだけでなく、非常に危険である。斜面地での工事は難しく、木の伐採や工事用地の整備等にも無駄な経費を要するため工事費が高額となる。エレベーターを水路エリア側に移動するだけで、A'案、B'案と同様に分かりやすく利用しやすく、夜間や休日も使え、自転車の利用も可能となる。

A案 拡張案 版美と同経路での搬入

北

版画美術館

展示室

収蔵庫

展示室を南側の収蔵庫に集約

全体コンセプト に対して (公園水路エリアとの関係)	搬入ルート (車両アプローチ)	搬入ルート (荷解→収蔵庫) (収蔵庫→展示室)	公園の高低差解消 (エレベーター等)	町田市 の評価
△	○	×	別に考慮が必要	

B案 一棟案 公園水路エリアからの搬入

北

版画美術館

展示室

収蔵庫

建物を3層に重ねコンパクト化

全体コンセプト に対して (公園水路エリアとの関係)	搬入ルート (車両アプローチ)	搬入ルート (荷解→収蔵庫) (収蔵庫→展示室)	公園の高低差解消 (エレベーター等)	町田市 の評価
×	×	○	別に考慮が必要	

C案 斜面地案 谷の上からの搬入

現在この案で進んでいる

北

版画美術館

エレベーター

展示室

収蔵庫

エレベーターを公園水路エリアへ移動

全体コンセプト に対して (公園水路エリアとの関係)	搬入ルート (車両アプローチ)	搬入ルート (荷解→収蔵庫) (収蔵庫→展示室)	公園の高低差解消 (エレベーター等)	町田市 の評価
○ ?	△	○	建築と連携可 ?	

更に検討すると

A'案 収蔵庫と展示室を南側に集約

北

工芸美術館
(収蔵庫・展示室)

版画美術館

エレベーター

全体コンセプト に対して (公園水路エリアとの関係)	搬入ルート (車両アプローチ)	搬入ルート (荷解→収蔵庫) (収蔵庫→展示室)	公園の高低差解消 (エレベーター等)	工事費
○	○	○	○	◎
自然影響：無 圧迫感：小	—	上下階で直結	常時利用可	最も安い

B'案 建物を3層に重ねコンパクト化

北

版画美術館

工芸美術館
(収蔵庫・展示室)

エレベーター

1階で版画美術館と繋がる

全体コンセプト に対して (公園水路エリアとの関係)	搬入ルート (車両アプローチ)	搬入ルート (荷解→収蔵庫) (収蔵庫→展示室)	公園の高低差解消 (エレベーター等)	工事費
○	△	○	○	○
自然影響：小 圧迫感：小	公園を一部横断	上下階で直結	常時利用可	安い

C'案 エレベーターを公園水路エリアへ移動

北

版画美術館

工芸美術館
(収蔵庫・展示室)

エレベーター

1階で版画美術館と繋がる

全体コンセプト に対して (公園水路エリアとの関係)	搬入ルート (車両アプローチ)	搬入ルート (荷解→収蔵庫) (収蔵庫→展示室)	公園の高低差解消 (エレベーター等)	工事費
×	×	○	○	×
自然破壊：大 圧迫感：大	園路と重なる	—	常時利用可	非常に高い